

## 報告書 パークレンジャーと行く！小平の生きもの調査隊

作成者：木村 成美

日時	令和2年8月2日(日) 9:00~11:00	
公園名/場所	小平市立たけのこ公園/都立狭山・境緑道 集合：花小金井駅南口	
開催形態	主催：小平市環境部環境政策課/企画運営：特定非営利活動法人 NPO birth	
目的	<p>① 市民の生物多様性についての理解を深め、生物多様性に配慮した行動に繋げることで、市内の生物多様性の保全に寄与する。</p> <p>② 生きものの生息状況を調査し、小平市の自然環境保全に繋げる。</p>	
概要	花小金井駅から小平グリーンロード（都立狭山・境緑道）を歩き、隣接する小平市立たけのこ公園にて、自然環境調査を体験する。公園を草地、樹林、竹林と3つの環境に分けて生きものを探し、確認した種類や数の比較を行う。	
講師/ゲスト	特定非営利活動法人 NPO birth レンジャー・環境教育部 木村 成美	
対象 定員	対象：市内に在住、在勤、在学の方 参加人数：9組 20名	
参加費	無料	
担当スタッフ	NPO birth：木村、金本、佐藤、柴田 小平市：神山、奥村、米山、片桐	
良かった点 (次回もやるとよいこと)	<p>① イベント前に感染防止策チェックリストを配布し、参加者にコロナ対策を徹底してもらった。さらに子どもの参加者向けにも「生きもの調査中のおやくそく」として感染症防止策・熱中症対策を呼び掛け、安全にイベントを実施することができた。</p> <p>② イベント中に、参加者同士で距離をとってマスクを外し、深呼吸をする時間を設けた。感染症の防止を徹底しつつ、熱中症予防にも努めた。</p> <p>③ 参加者に観察だけでなく、自然環境調査を体験してもらったことで、小平市の自然に対する理解を深め、環境保全への気運向上につなげることができた。</p> <p>④ 昨年度の「市民参加型生き物調査事業」をもとに作成した「小平生き物マップ」を紹介した。マップを活用した身近な生きもの探しの方法をレクチャーし、市民に引き続き生き物の探索を促した。今後も市民からの生きもの情報の提供が期待できる。</p>	
次回に向けて	問題点	改善策
	<p>① マスク、消毒などコロナウイルス感染症対策は十分に行っていたものの、観察の際に夢中になり過ぎ、子どもたちが接近しすぎてしまう場面があった。</p> <p>② 募集開始後、早々に定員いっぱいになり、ニーズに十分に答えられなかつ</p>	<p>① 生きもの観察の際には、こまめな声かけやグループ分けをして、わずかな時間でも一度に大人数が殺到しないように対策をとる。</p> <p>② 1日2回開催する、2週にわたって開催するなど、市民のニーズに十分に答えら</p>

	た。	れるよう検討する。
その他	広報対策：小平市報、チラシ、小平市ウェブサイト、NPObirth ウェブサイト	

フォトレポート



イベント開始時、感染症・熱中症対策を呼びかけた



調査の目的説明と「小平生き物マップ」を紹介



樹林調査の様子



草地調査の様子



参加者全員で協力してバッタ類を集めて観察する「バッタ追い込み罠」



竹林調査の様子



クワガタを観察する参加者



捕獲した生きものたち



東京都レッドデータブック北多摩絶滅危惧Ⅱ類に指定されているヒガシニホントカゲ

制作物関係

■チラシ



■コロナ対策

【参加者用】イベント開催時の感染防止策チェックリスト

**参加者にとって預きたい事**

- 参加当日はご自宅で体調を確認し、以下の事項に該当する場合は、自主的な参加見合わせを要します
  - 体調が悪くない(例:発熱、咳、喉痛などの症状がある)
  - 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる
  - 過去14日以内に転入・帰国または、当該在住者との濃厚接触がある
- マスク着用、着用(手ぬぐいなど鼻や口を覆うものであれば可)
- こまめな手洗い、手指消毒の実施
- 他の参加者、スタッフ、ボランティアなどとの距離を確保
- イベント中の大声発声での会話を行わない
- 感染防止のため、主催者が決めたその他の指図を守り、指示に従う(休憩時間の制限など)
- イベント終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無などについて報告し、関係者への情報提供(場合により個人情報含む)に協力する
- このイベントを開催するにあたり、イベント保険に加入してありますが、新型コロナウイルスの感染に罹患された際は、保障の範囲外であることをご了承ください

生きもの調査中のおやくそく

- ① くあいがあるときは、かならず大人の人にいうこと
- ② ほかの人とギュウギュウにならないこと
- ③ こまめにのみものをのむこと
- ④ マスクがくるしくなったら、人からはなれ、マスクをはずしてしんこきゅう

イベント中参加者に呼び掛けた  
感染症・熱中症予防策

イベント前に参加者に配布した  
感染防止策チェックリスト

## 生きもの調査結果

確認種数：計 105 種

●植物 44 種

- ・木本 14 種
- ・草本 30 種

●動物 61 種

- ・鳥類：10 種
- ・爬虫類：2 種
- ・昆虫類：49 種

東京都レッドデータブック記載種：3 種（小平市が位置する北多摩地域のカテゴリ）

- ・ヒガシニホントカゲ 【爬虫類：絶滅危惧Ⅱ類（VU）】
- ・ニホンカナヘビ 【爬虫類：絶滅危惧Ⅱ類（VU）】
- ・ノコギリカミキリ 【昆虫類：準絶滅危惧種（NT）】

環境省生態系被害防止外来種リスト掲載種：6 種

- ・トウネズミモチ 【木本類：重点対策外来種】
- ・オオキンケイギク 【草本類：緊急対策外来種/特定外来生物】
- ・ヒメムカシヨモギ 【草本類：その他総合外来種】
- ・セイタカアワダチソウ 【草本類：重点対策外来種】
- ・ヒメジョオン 【草本類：その他総合対策外来種】
- ・アカボシゴマダラ 【昆虫類：重点対策外来種/特定外来生物】

### 【考察】

- ・たけのこ公園は樹林地面積は大きくないが、100 種を超える生きものが確認できた。緑地の規模に対して種類が多いのは、鉄道と狭山・境緑道に挟まれていることが要因と考えられる。鳥類をはじめ、園内の生きものの多くは、狭山・境緑道などを通り、たけのこ公園に供給されているものと考えられる。
- ・東京都絶滅危惧Ⅱ類に指定されているニホンカナヘビやヒガシニホントカゲが確認できた。ヒガシニホントカゲは小さな幼体が確認されたことから、近隣の畑などを行き来しながら、繁殖もしているものと考えられる。餌となる昆虫類が豊富に生息することが、これらの生息を可能にしていると考えられる。
- ・東京都の準絶滅危惧種であるノコギリカミキリは古木の多い樹林で発生し、クヌギなどの樹液に集まる。たけのこ公園には樹液がある場所がほとんどなく、本種は隣接する狭山・境緑道を通して他の緑地から調査地まで移動してきた可能性が高い。小平グリーンロード（都立狭山・境緑道）などが、エコロジカルネットワークの骨格軸として、機能していると言える。

- ・オオキンケイギク、セイタカアワダチソウ、ヒメムカシヨモギなどの侵略的外来植物の侵入が激しい。緑道や鉄道は貴重な動植物の移動経路となるが、反面外来生物の侵入経路ともなり得る。緑道、用水などに隣接した緑地では、外来種の動向に注意する必要がある。
- ・草地調査では、確認されたバッタ類はショウリヨウバッタとオンブバッタのみであり、規模に対して種類数は非常に少なかった。広場利用に支障のない場所の草丈を高く調整する、藪を作るなどの工夫により、多様な昆虫が見られるようになる可能性がある。

## アンケート集計結果

回収枚数： 11 枚

【問1】今日のイベントは楽しかったですか。

- ・とても楽しかった： 7人
- ・楽しかった： 3人
- ・ふつう： 1人
- ・つまらなかった： 0人
- ・とてもつまらなかった： 0人
- ・回答なし 0人

【問2】今日は、なにが楽しかったですか。

- ・トカゲやカナヘビをつかまえるのが楽しかった。
- ・ちょうちょをつかまえたのが楽しかった。セミのぬけがら。
- ・つかまえるのが楽しかった。
- ・虫さがし。(5名)
- ・いろいろな虫がいたこと。
- ・虫をつかまえること。お話を聞くこと。
- ・トカゲをみつけたとき、ワクワクした。

【問3】この公園で、他にどんな遊びをしたいと思いますか。

- ・ブランコ
- ・すべりだい
- ・とんぼとり
- ・木登り
- ・なわとび
- ・追いかけっこ
- ・トカゲをつかまえたい
- ・虫さがし

【問4】あなたは、何才ですか。

- ・2歳： 1人
- ・5歳： 3人
- ・6歳： 1人
- ・7歳： 3人
- ・8歳： 1人

- ・ 9歳： 1人
- ・ 10歳： 1人
- ・ 11歳以上： 0人
- ・ 回答なし 0人

【問5】これからやってみたいと思うものに、○をつけてください。(複数回答)

- ・ もっと自然の中で遊びたくなった： 4人
- ・ 自然の中で、生きものをさがしたくなった： 10人
- ・ 自然や生きものを大切にしようと思った： 5人
- ・ 食べものや水、ものを大切にしようと思った： 3人
- ・ 今日のことを、お家の人や、友だちに話したい： 5人
- ・ 何も思わなかった： 0人
- ・ その他： 0人
- ・ 回答なし 0人